

《映像論序説》

图书基本信息

书名：《映像論序説》

13位ISBN编号：9784409100264

10位ISBN编号：4409100262

出版社：人文書院

作者：北野 圭介

页数：324p

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《映像論序説》

内容概要

現在、「映像」はあらゆる場所に溢れ、私たちの生活において不可欠のものとなっている。アナログからデジタル映像への変化、インターネットなど画面を通じた双方向コミュニケーション技術の進歩とその爆発的拡大などにより、もはや「映像」はただ眺めるだけのものではなくなった。変貌した「映像」が持つ意味と、それが与える衝撃とは何か。北米のニューメディア研究、欧州のイメージの科学をはじめ、情報理論、認知科学、脳科学、分析哲学、映画、ゲーム、メディアアート、フィクション論など、多岐にわたる分野を大胆に横断し、来るべき「映像の理論」を構築する、挑発的な一書。

序章

第1章 画面とは何か（アナログとデジタルの断絶と連続；映し出されたものと映し出されるはずだったもののあいだ）

第2章 映像と身体（見つめる身体と操作する身体；身体イメージの厚みと膨らみ）

第3章 映像とその外部（映し出された物語と語られた物語；遮断する映像と接続する映像）

結語 言葉と映像、その新たなる距離

先鋭化する欧米のニューメディア研究、フィクション論、認知科学など最新の知見を導入し、来るべき「映像の理論」に向けた挑発の書

《映像論序説》

作者简介

北野圭介 [キタノケイスケ]

1963年生。ニューヨーク大学大学院映画研究科博士課程中途退学。ニューヨーク大学教員、新潟大学人文学部助教授を経て、立命館大学映像学部教授（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

《映像論序説》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com